

## 平成 27 年度第 2 回下田市総合教育会議 会議録

平成 27 年 10 月 27 日(火)16 時 00 分 第 2 回下田市総合教育会議を下田市立中央公民館中会議室で開催した。

出席者は次のとおりである。

(委員)

市長 楠山 俊介  
教育長 佐々木文夫  
教育委員 田中とし子  
教育委員 渡邊 亮治  
教育委員 土屋 康宣  
教育委員 天野 美香

(事務局)

総務課長 稲葉一三雄  
学校教育課長 峯岸 勉  
生涯学習課長 鈴木 孝子  
学校教育課参事 山梨 弘樹  
学校教育課長補佐兼学校教育係長 佐々木雅昭  
総務課長補佐兼庶務係長 佐藤 政年  
総務課主事 宮崎想太郎

1. 総務課長 16 時 00 分開会を宣す。

2. 議事

(1) 下田市教育大綱(案)について

学校教育課参事より資料に基づき説明

田中委員 予算編成が必要な場合には詳しい内容についても考慮していただき、必要な予算を確保できるようにお願いいたします。

天野委員 防災教育、安全教育とありますが、今後どのように進めていくのでしょうか。

山梨参事 従来行ってきた訓練に加えて、危機管理局等と提携し積極的な活動を推進していきたいと考えています。

市長 実施計画を作成するにあたっては、大綱の内容をすべて網羅する形で行うのでしょうか。

山梨参事 すでに詳細な計画を有しているものもありますので、これから計画を要する部分については、大綱をもとに作成する予定です。また、今までの計画につきましても大綱と見比べて必要があれば修正します。

教育長 「豊かな感性」を育む教育活動の推進においては、子どもたちの体験学習や英語教育の充実のための予算が必要となりますが、計画をしながら重点的に進めていきたい

と考えています。

田中委員 予算編成の具体的な手続きについて教えていただけますでしょうか。

総務課長より説明あり

総務課長 今後は、大綱案をパブリックコメントにかけて市民の意見を取り入れて、大綱に基づく実施計画の作成をしていくということによろしいでしょうか。

【承認される】

(2)新給食センターについて

学校教育課長補佐より資料に基づき説明

田中委員 民間に委託する場合には、教育委員会で子どもたちに安全安心でおいしい給食を提供できているかチェックする機能はあるのでしょうか。

学校教育課長 運営体制につきましては教育委員会でチェックできます。

総務課長 例えば、日報や月報を提出してもらうこともできます。また、学校以外の委託についても検査をしたのち会計処理をしますので、本件も同様の手続きを行います。

総務課長 給食センターの稼働につきましては可能な限り早い時期に、運営方法は民間委託ということで本会議では調整されたということによろしいでしょうか。

【承認される】

(3)学校再編について

学校教育課長より資料に基づき説明

土屋委員 6,7年前に稲梓中学校と稲生沢中学校との統合の話が出てきまして、主に稲梓地区で統合は「上からの押し付けだ、先に統合が決まっていてそれに従えというのは納得できない。」というような地域の反対があり、それが白紙に戻ってしまった経緯があります。また、3年ほど前に稲梓中学校の現状を見て、やはり統合を推進するべきだという話になり、保護者の方々や区長さん、また現場の先生方と何度も意見交換会をもちまして、当然反対の意見もありましたが、皆さんの意見を集約した中で統合する方がいいのではないかとりました。また、学校再編問題についての審議会における現状の答申は、稲梓中学校と稲生沢中学校の統合を第一に考えて進めていくという内容です。ですから、今まで数年かけて地域の思いを得て進めている統合を、無にしないためにも、この二つの学校の統合を第一にするべきではないかと私は考えます。

天野委員 保護者の立場での意見ですが、少人数制での学習体制というのはデメリットだけではないのですが、現状においては稲生沢中学校と稲梓中学校の統合の問題は大事なこ

とだと思います。これから先、下田市の子どもたちの人数が減っていく中で、いずれは一校になるかもしれませんが、この統合は子どもたちの学習環境が向上できるよう進めていくことが望ましいと思います。

渡邊委員

稲梓中学校の生徒数が少ないということで、統合の説明会では理解を得られていると思っておりますが、その中で少ない人数で学習するより統合して学習する方が子どもたちにとって良いのではないかと思います。早急に統合を進めて一校化することが理想なのかもしれませんが、いきなり一校化とすると財政的な問題もあるかと思っておりますので、まずは稲生沢中学校と稲梓中学校の統合をして徐々に進めていくほうが良いのではないかと思います。

田中委員

結論から言いますと答申通りで良いと思っておりますが、将来的に一校にしたほうが良いのではないかとということが答申に書いてあります。しかし、今や稲生沢中学校と稲梓中学校の統合問題については8年も経過しています。当時は、子どもたちの環境が良いとは言えない時期になってから再度話をしましょうということで8年間が経過したわけです。そして、それぞれの地区に回ってみたところもうそろそろ統合してよいのではないかとこの雰囲気を感じました。なかなか自分の今まで通っていた学校から新しい学校へ通うということは悩むことも多いかもしれません。しかし、全体的なことを考えるとまずは稲梓中学校と稲生沢中学校の統合を進めて、その後状況を見て一校化が望ましい時期が来たら一校化するべきだと考えています。

教育長

過去の資料を見ますと、審議委員の皆さんあるいは教育委員会に当時携わっていた方々が本当に苦勞をしてここまでやってきたのだなと実感しているところであります。ただ、一度稲梓中学校と稲生沢中学校の統合後にまた一つの学校に再編できるかということ非常に心配しております。資料において今から10年後の平成37年には稲梓中学校と稲生沢中学校の生徒数は117名となっており、1学年で1学級の編成となります。下田東中学校も単学級となります。子どもの学習環境や施設等も考えますと、できれば1学年3～5クラスあった方が良いのではないかと思います。10年後を見据えた時には学習環境の整備をしたうえで一校化することが良いと考えています。各学校の建築年数を考えますと、稲梓中学校は現段階で53年経っており、稲生沢中学校は33年、下田東中学校については48年、下田中学校については31年となっております。これが10年後となると校舎の大規模な改築が必要になるのではないのでしょうか。一校化するにあたって校舎の建設位置など詳細については現時点では言えませんが、将来を考えると子どもたちのためにも一校化が良いのではないかと考えております。

市長

小学校につきましては単学級が生じる場合は検討するということですが、予想として今後10年間はそのような状況にならないだろうということですので、この方針で進めていくことが良いかなと思います。ただし、教育長からも話があったように小学校の建築年数を考えますと今後10年間は無いと思いますが、さらに先の将来にお

いて校舎の建て替えや学校の再編について考えることが大切になるかと思います。また、私は否定的ですが市民の皆さんからは人口減少に伴い賀茂郡内の市町と合併すべきとおっしゃる方がおられますが、万が一合併という話になった場合小学校が7つもあることを周りの町は許してくれないと思います。もし市町村合併の話が出てきたときには下田もそのようなことについて考える必要があるかもしれません。

それから中学校に関しましては、それなりの競争、協調ができるような人数構成をすべきだと考えていますので、私としては早く中学校を一度に一校化することを大前提に物事を考えたいと思っています。しかし、早くと言っても1年や2年でできるというような状況ではありませんので、6年7年かけるべきなどと言われていますが目標値を設定する必要がありますので、何年後には合併するのだという目標を決め、それに合わせてどのような準備をしていくかということを考えないといけないと思います。それと、市内の中学生の数も5年後には100人、10年後には150人近く減る見込みですが、ただ子どもたちを一つの学校に収まるようにすることが一校化ではないと思います。一校化するのであれば学校施設、子どもたちの環境を良くすることが必要ですし、校舎の耐久性を考えて建て替えるべきか改修するのか、それとも増築をするのかといったことを考えなければならないです。私としてはやはり5年後くらいを目標にそのようなことも考えながら一校化すべきだと思います。しかし、稲梓中学校の環境の問題はこの間どんどん子どもたちの数も減って、適正人数の中で教育を受けるには悪化する状況ですので、学校教育充実のための方策を考えたいので5年あるいは6年、7年後まで待っていただけなのか、それとも緊急避難的になるべく早く稲生沢中学校との合併を先行してその後一校化を進めるのかということは考えなければいけないと思っています。

総務課長

話を絞りますと、小学校は当分複式学級になる見込みはなく緊急性はないということでしょうか。中学校については基本的には答申通りですが、やり方についていきなり一校化すべきか段階をおいてやるのかということところです。稲梓中学校については教育委員さんの話では統合する環境はできているので、多くの時間をかけずにできるはずなので早く統合すべきだということですね。市長と教育長はそこで統合したのちに市内で何度も統合するのであれば、そのまま一校化するのが相応しいのではないかという認識でよろしいですか。

市長

学校の名前や校歌や制服などあらゆるものについて検討したうえで統合をするとなりますと、また2、3年後に統合となった場合子どもたちの環境がなかなか落ち着かない状況となります。10年以内に2度も3度も統廃合するとなると子どもたちの負担も大きくなりますので、5年あるいは7年くらいを目標に一校化できれば良いと思います。

田中委員

前回話をした中で一番問題となったのは交通手段についてでした。子どもたちにとって安全な通学路をどのように確保するか、バス代について等の問題が出てきました。

稲梓と稲生沢については距離的にはそこまで遠くないですが、今度新しい学校をどこに作るかということになった時に、そのような問題を解決できるのかということがあります。今も保護者の方々は稲生沢と稲梓という限定の中で物事を考えて、それならば仕方ないということだったものですから、新たに一校化ということになるとまたそれなりに意見も出てくるのではないかと思います。

また、耐用年数のことを考えますと、仮に一校化となりますとすべてを新しいものにするということになるかと思いますが、財政的な面からもそのようなことが可能なのか心配しています。また、一校化まで稲梓の子どもたちをそのままにしているのかということも心配です。

総務課長

学校再編整備審議会の答申を尊重するということが基本となるわけですが、答申の中で「将来的な一校化も視野に入れて」ということも出ておりますので、教育委員会と総務課の事務局で統合に向けてのスケジュールを一度検討したいと思います。ただ、稲梓中学校は現状でも特に少人数化が顕著で、教育にも支障があるということですので、早急に対応することを考慮したうえで、案を作って協議していただいた方がより具体的なことが決まると思います。

教育長

ただ5年後に一校化するというだけだと保護者の方々も判断が難しいと思いますので、一校化する場合の位置について等ある程度の案を作る必要があると思います。

総務課長

以前、稲生沢と稲梓の統合の話があった際に交流のようなことをやった記憶がありますが、またそのようなことをするのは可能でしょうか。

参事

交流については今年度も1回行っています。2回目については学校行事との兼ね合いで中止ということになりました。交流を続けているからということもあると思いますが、稲生沢と稲梓の子どもたちは自然な形で関わり合える関係になっています。子どもたちの側面から言えば、統合についての抵抗感はないように感じています。

総務課長

議会においても子どもの人数を考えれば一校化を急ぐべきという意見が出ておりますが、一度半年若しくは1年程度かけて保護者の方や市民の方を交えた会を設けて話し合いをしないと、後々難しくなってしまうのではないかと思います。

田中委員

単純に人数のみを考えて統合するのではなく、子どもたちの教育環境の改善を考えてこの地域においてどの程度のクラス編成であれば良いかということを考えますと、私は2つの学校があっても良いと思います。今でも音楽発表会をやってあの学校はこんなところがすごいとかうちの学校もこうなれば良いとか、他の学校を意識することがあると思います。

教育長

ただそうなった時に、場所のことを考えると仮に稲生沢地区と下田地区の近い距離

に2つの学校ができると、一つの学校は3クラス規模、もう一方は1クラス規模となり、例えば部活動において片方の学校にはたくさんの部活動があるのでそちらに行きたいという子ども出てくるのではないかと思います。

土屋委員

今までの経緯があるうえで、それを振り出しにして一校化を進めるのであればまたたくさんの住民の方々の意見を集約して進めていく必要があります。また、単に一つの学校にすれば良いわけでもありません。一校化について皆さんに納得してもらえる形のものを作らなければいけないということを考えるとかなり時間もかかるのではないかと思います。

教育長

一校化する場合の校舎なり体育館の費用の算定は可能でしょうか。

総務課長

鉄筋コンクリートでどういう構造でというのはだいたい単価がありますので、概算の事業費は出ると思います。

学校再編の問題については審議会の答申を尊重してスケジュールや手法についても検討しながら、次回に向けて準備を進めたいと思います。

3. 総務課長 17時45分に閉会を宣す。